

びわ湖ミュージックハーベスト2024 室内楽セミナー

受講生募集《受講料：無料》

びわ湖ミュージックハーベストは、音楽家を志す若い人が、湖国滋賀で、日本を代表するトップレベルの講師陣や仲間たちとのアンサンブルを通じて音楽への理解を深め、ともに演奏する楽しさを体験するセミナーと演奏会です。



【セミナー日程】2025年**3月26日(水)~29日(土)**
全4日間

※各日9時30分~19時の間で、リハーサルを行います。
29日は小劇場にて成果発表演奏会(入場無料)を開催します。

【会場】滋賀県立文化産業交流会館(小劇場、練習室等)
JR米原駅下車徒歩約7分

【募集パート】弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)、ピアノ
計10名程度

【応募資格】滋賀県および近隣府県(近畿2府4県および福井・愛知・岐阜)
在住・在学の小学生から高校3年生
専門的に楽器を勉強している方で全日程に参加できる方
※書類および録画映像による審査を行います。
※本セミナー累計受講回数が2回までの方とします。(2020年度以降開催分。今回を除く。)

【受講料】**無料** ただし、セミナー会場までの交通費、宿泊費、飲食費、資料代等は
ご自身で負担ください。

【申し込み期間】2024年**8月20日(火)~10月20日(日)**
[必着/WEB申込は23:59まで]
※11月中に参加の可否をお知らせいたします。

お申し込み・お問い合わせ

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749-52-5111

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2丁目137 <https://www.s-bunsan.jp/>
※月曜休館(祝日の場合は翌日以降)



講師

音楽監督・
ヴァイオリン **玉井 菜採**
東京藝術大学教授・平和堂財団芸術奨励賞選考委員

ヴィオラ **安藤 裕子** 東京藝術大学、洗足学園、
聖徳学園非常勤講師

チェロ **河野 文昭** 東京藝術大学名誉教授

ピアノ **野田 清隆** 東京学芸大学教授

た ひ か
か び さ
か び さ
め き な
あ き あ
あ い



主 催/公益財団法人 **平和堂財団**
共催・制作/公益財団法人びわ湖芸術文化財団 滋賀県立文化産業交流会館
協力/株式会社しがぎん経済文化センター
後 援/滋賀県、滋賀県教育委員会、公益財団法人日本室内楽振興財団



びわ湖
ミュージック
ハーベスト

平和堂財団

検索

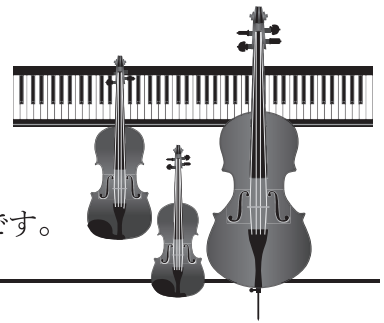


この室内楽セミナーでは、受講生と講師を交えた編成で、

3日間濃密なリハーサルを重ねたうえで、最終日に演奏会を開催します。

演奏技術向上のみならず、奏者ひとりひとりが自らの内側から湧き上がるものを発信し、

お互いの音を聴きあい、活かしあう極意や、ともに演奏する喜びを発見する貴重な4日間です。



申し込み方法

①平和堂財団ホームページ専用応募フォーム

②申込用紙(平和堂財団ホームページびわ湖ミュージックハーベスト専用ページからダウンロード)を郵送または持参

記載内容

●住所 ●氏名 ●年齢 ●電話番号(携帯電話番号など必ず連絡の取れる番号を記載してください)

●メールアドレス(@biwako-arts.or.jpより受信可能にしてください) ●学校名および学年 ●楽器パート

●師事者名※現在師事している先生の了解を必ず得てからお申し込みください ●室内楽およびアンサンブルの経験や演奏歴

●学習したことがある室内楽曲名 ●志望動機 ●動画の演奏曲目 ●過去の「びわ湖ミュージックハーベスト」受講歴



専用応募
フォームは
こちらから

提出物

審査用として、2023年4月以降に収録された映像を提出してください。曲目は自由です。

[提出方法] 演奏データをGoogle DriveまたはDropbox、ギガファイル便へアップロードし、
リンク先を応募フォームに入力、または申請書に記入。※詳細はホームページをご確認ください。

申し込み期間

2024年8月20日(火)～10月20日(日)[必着/WEB申込は23:59まで] ※11月中に参加の可否をお知らせいたします。

郵送先

滋賀県立文化産業交流会館 びわ湖ミュージックハーベスト係

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137 TEL.0749-52-5111(月曜休館・祝日の場合は翌日以降)

※ご提出いただいた個人情報および映像資料は、審査以外の目的には使用いたしません。
また、提出いただいた資料は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

講師プロフィール



玉井 菜採
《ヴァイオリン》

京都生まれ。大津で育つ。桐朋学園大学在学中に、プラハの春国際コンクールヴァイオリン部門に優勝。東儀祐二、小國英樹、久保田良作、立田あづさ、和波孝禧らの諸氏に師事。大学卒業後に渡欧、アムステルダム・スヴェーリンク音楽院でH.クレバス氏、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにてA.チュマチェンコ氏に師事。この間、J.S.バッハ国際コンクール最高位をはじめ、エリザベート王妃国際コンクール、シベリウス国際コンクールなど、数々のコンクールに入学している。滋賀県文化奨励賞、平和堂財団芸術奨励賞、文化庁芸術祭新人賞、京都府文化賞奨励賞などを受賞。ソリストとして国内外のオーケストラと共演を重ね、リサイタル、室内楽の分野でも活発な演奏活動を展開している。紀尾井ホール室内管弦楽団コンサートマスター、東京クライスアンサンブルメンバー、アンサンブル of トウキョウソノヴァイオリニスト。東京藝術大学音楽学部教授。使用楽器は藝大所蔵のStradivarius "Ex-Park" (1717)。



安藤 裕子
《ヴィオラ》

東京藝術大学、大学院修了。学内にて安宅賞受賞。卒業時、読売新人演奏会に出演。第3回日本室内楽コンクール第1位。第52回ジュネーブ国際コンクールセミファイナリスト。第17回ヴィットリオ・グイ国際室内楽コンクールデュオ部門最高位。これまでにソリストとして、新日本フィル、東京フィル、ロイヤルアカデミー・オーケストラと共演。元東京シ ティフィル首席奏者。現在、紀尾井ホール室内管弦楽団在籍。芸大フィルハーモニア首席奏者。ヴィオラを、菅沼準二、セルジウ・コロ氏に師事。東京藝術大学、洗足学園、聖徳学園非常勤講師。



野田 清隆
《ピアノ》

第64回日本音楽コンクール第1位。ブラームスと20世紀作品を組み合わせた一連のリサイタルにより東京藝術大学で博士号。以来、全国各地での演奏会や音楽祭、放送、録音など活発な演奏活動を行う。下野竜也、広上淳一、S.カンブルラン、A.ラザレフといった指揮者のもと読売日本交響楽団、日本フィル、東京交響楽団、シティフィル、藝大フィル、札幌交響楽団、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市交響楽団、大阪フィル、大阪交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団に客演のほか、愛知室内オーケストラでは弾き振りも行った。室内楽でも名手からつねに共演を求められている。一方で尾高惇忠《ピアノ協奏曲》初演やブルーレス《シュル・アンシーズ》日本初演など現代音楽の領域でも活動。録音には尾高惇忠《昔の海から-12のピアノ作品》、高橋敦[Ode for Trumpet]、花崎薫[ベートーヴェン:チェロとピアノのための作品全集]等多数のCD、楽譜ではウィーン原典版「ブラームス:51の練習曲」の翻訳(音楽之友社)がある。東京学芸大学教授、ならびに東京音楽大学指揮科特別アドヴァイザーの傍ら、2022年より指揮研修生として田代俊文氏に師事している。



河野 文昭
《チェロ》

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロスアンゼルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G・ライトー、A・ナヴァラの各氏に師事。1984年帰国後、独奏者として各地でリサイタル、オーケストラとの共演を重ねる他、アンサンブル of トウキョウ、紀尾井ホール室内管弦楽団、静岡音楽館(AOI)レジデントカルテット、東京クライスアンサンブルなどのメンバーとして、室内楽の分野でも、国内外に幅広く精力的な演奏活動を行っている。81年第50回日本音楽コンクール チェロ部門第1位、90年京都音楽賞、92年大阪府文化祭賞、2004年京都府文化賞功労賞等を受賞。17年京都市文化功労者。東京藝術大学名誉教授。

室内楽の名曲をトップクラスの講師陣と3日間磨き上げた成果を演奏会形式で披露します。

びわ湖ミュージックハーベスト2024 室内楽セミナー 室内楽演奏会

【日時】2025年3月29日(土) 14時開演(13時30分開場)

入場無料 ※整理券

【会場】滋賀県立文化産業交流会館 小劇場 ※整理券は文化産業交流会館にて配布。電話による予約も可
※2025年1月配布開始予定

【出演】びわ湖ミュージックハーベスト2024 受講生

玉井菜採(ヴァイオリン)、安藤裕子(ヴィオラ)、河野文昭(チェロ)、野田清隆(ピアノ)

お問い合わせ

滋賀県立文化産業交流会館 TEL.0749-52-5111

〒521-0016 滋賀県米原市下多良2-137 <https://www.s-bunsan.jp/> (月曜休館・祝日の場合は翌日以降)

